

科目名	臨床病態学 I (Clinical Pathophysiology I)			科目コード	153
開講学科	看護学科・ 臨床検査学科	選択区分	必修	単位数(時間)	1単位(30時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	2年次前期	関連DP	看①～⑤、臨①～⑤
担当教員	脇坂 浩之				
授業概要	外科看護の基礎として診断と治療を概論的に述べ、成人の消化器、循環器、呼吸器、脳神経系の各種重要疾患の疫学、病態生理、診断法、治療法、予後について教授する。手術侵襲に伴う負の生体反応が生じうる外科的治療法の観点を重視して講義する。				
授業目標	医療従事者として、実際の現場において、医師、薬剤師、理学療法士、介護福祉士などのスタッフと密な連携をとって行動できるよう、個々の疾患について疫学、病態、発症機序、症候、経過、治療、予後など医療に携わるうえで必須な臨床医学の知識を身につけることを目標とする。				

授業計画

回	項目	内容
1	腫瘍総論	腫瘍の定義と分類、発生病理、悪性腫瘍の転移と進行度、腫瘍の診断と治療
2	消化器疾患(1) 上部消化管	食道癌の病態生理と診断法・治療法・予後
3	消化器疾患(2) 上部消化管	消化性潰瘍、胃癌の病態生理と診断法・治療法・予後
4	消化器疾患(3) 上部消化管	大腸癌、虫垂炎、腹膜炎、イレウスの病態生理と診断法・治療法・予後
5	消化器疾患(4) 肝臓・胆嚢	ウイルス性肝炎と肝硬変、肝癌、黄疸、胆石症の病態生理と診断法・治療法・予後
6	消化器疾患(5) 膵臓	急性膵炎、慢性膵炎、膵癌の病態生理と診断法・治療法・予後
7	循環器疾患(1)	虚血性心疾患の病態生理と診断法・治療法・予後
8	循環器疾患(2)	心不全の病態生理と診断法・治療法・予後
9	循環器疾患(3)	不整脈・高血圧症の病態生理と診断法・治療法・予後
10	呼吸器疾患(1)	呼吸器感染症の病態生理と診断法・治療法・予後
11	呼吸器疾患(2)	肺気腫・肺線維症・呼吸不全の病態生理と診断法・治療法・予後
12	呼吸器疾患(3)	肺癌の病態生理と診断法・治療法・予後
13	脳・神経疾患(1)	脳血管障害(脳出血、くも膜下出血、脳梗塞)の病態生理と診断法・治療法・予後
14	脳・神経疾患(2)	脳腫瘍の病態生理と診断法・治療法・予後
15	脳・神経疾患(3)	外傷性頭蓋内血腫の病態生理と診断法・治療法・予後
成績評価方法	定期試験 100%	
教科書		
参考図書等	松田暉・荻原俊男・難波光義ほか「疾病と治療Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」(南江堂)	
授業時間外の学習について	参考図書やプリントを用いた予習・復習(計1時間)が必須	
関連科目	141人体の構造・機能Ⅰ、142人体と構造・機能本科目、143人体と構造・機能Ⅲ⇒本科目⇒各専門科目	
備考		